

平成24年度 第1回 芦屋市立青少年愛護センター運営連絡会会議要旨

日 時	平成24年5月31日(木) 午後1時30分～3時5分
場 所	芦屋市役所 北館4階 教育委員会室
出席者	委員長 新井野久男 副委員長 丹下 秀夫 委 員 曾和 義雄 " 半田 孝代 " 田口 英雄(代理:菅野 勝利) " 寺本 慎児 " 長谷川則光 " 上月 敏子 " 前川 和世 " 谷池 葉子 " 牧野 君代 " 大塚 圭子 事務局 福岡教育長,西本社会教育部長,藤原青少年愛護センター所長, 松本青少年愛護センター指導主事
事務局	青少年愛護センター
会議の公開	公開
傍聴者数	0人

1 会議次第

(1) 任命書交付(新規委員)

(2) 開 会

(3) 議 事

- ・平成23年度 芦屋市立青少年愛護センター事業報告
- ・平成24年度 芦屋市立青少年愛護センター事業計画
- ・平成24年度 芦屋市青少年育成愛護委員について
- ・意見交換

(4) 閉 会

2 提出資料

(1) 平成24年度 第1回芦屋市立青少年愛護センター運営連絡会次第

(2) 芦屋市立青少年愛護センター運営連絡会 委員名簿

(3) 平成23年度 芦屋市立青少年愛護センター事業報告

(4) 平成24年度 芦屋市立青少年愛護センター事業計画

(5) 平成24年度 芦屋市青少年育成愛護委員班編成表

3 審議経過（概要）

開会

（事務局）本日は大変お忙しい中，本年度第1回芦屋市立青少年愛護センター運営連絡会にお集まりいただきありがとうございます。

（愛護センター運営連絡会 新委員の任命式及び任命書交付）

（事務局）開会に当たり，福岡教育長よりあいさつをさせていただきます。

（福岡教育長あいさつ）

（事務局）それでは、ただ今より、平成24年度 第1回 青少年愛護センター運営連絡会を開催させていただきます。新井野委員長のあいさつをお願いします。

（新井野）改めまして、みなさん、こんにちは。私も、学校現場を離れて長くなります。兵庫県，神戸市や、芦屋市の学校現場の情報がほとんど入ってこないのですが、5月と言えば、小学校や中学校では、修学旅行や自然学校など、大きな行事が行われているのではないのでしょうか。芦屋市内の3中学校も、修学旅行を終えられたようです。小学校も自然学校に行かれているところがあると聞きます。

そう言う大きな行事の中で、子ども達に成功体験のできる場を如何に与えることができるか、また、参加した子ども達自らがその行事を創り上げて行くことも大事なことはないかと思えます。自分達が参加した行事を成功させることにより、中学校3年生の卒業まで充実した生活が送れるかどうか、そのあり方などが生活指導に関わってくるものだと捉えています。

子どもの状況、並びに、それぞれの関係機関の委員の皆様の様子とか、いろんな情報交換をしていただきますと、充実した会になるのではないかと思います。よろしく願いいたします。

（事務局）ありがとうございました。それでは、これより、進行を新井野委員長にお願いいたします。

（新井野）それでは、ただ今より、次第3の議事に移らせていただきます。

では、「平成23年度 芦屋市立青少年愛護センター事業報告」の説明を事務局お願いします。

.....【事務局説明】.....

（新井野）ただ今の「平成23年度 芦屋市立青少年愛護センター事業報告」について、質問等はありませんか。

.....質疑応答特に無し.....

それでは、「平成23年度 芦屋市立青少年愛護センター事業報告」につきましては、これで終わらせていただきます。

次に、「平成24年度 芦屋市立青少年愛護センター事業計画」に移ります。説明をお願いします。

.....【事務局説明】.....

（新井野）ただ今の「平成24年度 芦屋市立青少年愛護センター事業計画」に対しまして、ご質問等がございませんでしょうか。

.....質疑応答特に無し.....

無いようですので、「平成24年度 芦屋市立青少年愛護センター事業計画」につきまして、これで終わらせていただきます。

次に、「平成24年度 芦屋市立青少年育成愛護委員について」に移ります。説明をお願いします。

.....【事務局説明】.....

(新井野)ただ今の「平成24年度 芦屋市立青少年育成愛護委員について」に対しまして、ご質問等がございませんでしょうか。

.....質疑応答特に無し.....

ありませんか。それでは、「平成24年度 芦屋市立青少年育成愛護委員について」を、これで終わらせていただきます。

愛護センター事務局からの説明が終わりました。

いつものように、委員の皆様の意見交換をお願いしたいと思います。

それでは、保護司代表の曾和委員からお願いします。

(曾 和)保護司の活動の柱は、更正保護・犯罪予防という2本の柱です。しかし、どちらかと言うと、更生保護活動という方に比重がかかっているように思います。更生保護活動は、どうしても受身の形になります。このような人がいるので、この人の生活の改善や、更生保護をお手伝い願えませんか、ということになってきます。しかし、来年あたりから、地域社会との結びつきとして、犯罪や非行を犯した方の改善に、裁判所などが、その人に、社会貢献活動をしなさいという遵守事項を付けることが多くなってきます。今までは、対象者の秘密保護ということに神経を使っていましたが、今後は、社会貢献活動の条件が付いた保護観察ということが増えてくるかと思えます。そうした意味で、地域社会、皆様方との結びつき、皆様方に教えていただくことが増えてくることと思えます。よろしく願いいたします。

(半 田)民生児童委員協議会は、高齢者・障がい者・児童が対象で、福祉を必要とするところで、心のサポートを行っています。数年前から児童虐待のケースが減らないので、児童問題に力を入れています。毎月20件ほどの事例の検討会を、民児協と家庭児童相談員と子ども課、教育委員会の方とで、行っています。そこにあがってくるケースは、あがってきた時点で、重たいケースになっていますので、もう少し早期に発見したいと思っています。そこで、他の団体の方にも協力いただきまして、「子育て応援団」というのを立ち上げました。虐待を受けている子どもの早期発見に繋がりたいと思っています。

保護者に対しても「子育ては一人でしているのではないですよ。こんなに大勢の応援団がいますよ」という柱と、その中から、「SOSをキャッチ出来たらいいな」という、二つの目的を持ってアプローチしています。

民児協の最新の活動としては、「赤ちゃん応援ネット事業」の一環として、“トライやる・ウィーク”の受入れ先として、手を上げました。“トライやる・ウィーク”の中学生に、生後4ヶ月の乳児のいる家庭に、『スタイ(よだれかけ)』を作り、訪問してもらうと言う活動です。今、山手中学校の生徒が、訪問を行っています。次も、5人の中学生が来ます。福祉センターのワークルーム室で、ス

タイ（よだれかけ）を作っています。スタイ（よだれかけ）作りの方も、声掛けのうまくいっている団体は、PTA、コミスクなど、得意な方がいっぱい来て作っています。乳児は、一年間に800人は生まれますので、単純計算して、1ヶ月に80枚は作らないといけません。関係機関に、「得意な方は、どんどん来てください」という声かけをしています。今日早速、できたスタイを持って、中学生が赤ちゃん訪問に行きました。報告などを聞いてみたいと思います。

（菅野）ご存知の様に、警察は、少年の非行防止活動と悪いことをした少年の検挙、少年の被害の防止活動をしています。芦屋警察署管内の刑法犯認知件数は、平成14年から、約三分の一位の995件に減っています。本年に入りまして、阪神間で唯一、芦屋は減少傾向を示しています。

犯罪の具体的な内容としては、ひったくり等が阪神間で多発しています。芦屋警察の管内では、5件発生しています。発生の傾向等を確認しながら、その時間帯に警察官全員で警戒をしているところです。

一般的な事で申しますと、現在は、ひったくりの防止と、振込め詐欺の対応を行っています。振込め詐欺ですが、今年に入って1件、約7000万円の被害が発生している状況です。最近多いのは、昔にあった「オレ。オレ」という息子を語った手口に戻っています。「携帯電話変えたから、登録して」と親に言いまして、変えた電話番号からずっと連絡を入れながら、「実は、女の人を妊娠させた」とか、「浮気の被害にあった」とかで、お金を要求すると言うのが多いです。特殊詐欺というのもありますが、先ほどのような形で被害が出ているのが現状です。

少年問題につきましては、夏場に向けて生活安全課中心に、少年保護活動をやっていると考えています。少年非行につきましては、昨年からは、増加傾向を示しています。できるだけ、少年補導をして、保護者に連絡して非行の芽を早期に摘もうと、警察も、活動を継続しています。ご理解いただきたいと思います。

（新井野）少年非行の増加現象は、全国的な傾向ですか。

（菅野）少年自身が少なくなっていますので、減少傾向です。

多いのは、深夜徘徊とか、喫煙関係です。芦屋管内では、コンビニ等に、夜間に集まっている通報を、何度か受けています。

（前川）質問として、有害図書とか、有害テープですが、どう言う物を有害と捉えているのか、後で教えていただきたいと思います。

幼稚園の方では、子どもたちが、将来加害者や迷惑をかける人にならないようにということも意識しながら、毎日暮らしています。その為には、お母さん教育と言うか、保護者教育にかなりのウエイトをかけています。

交通ルールについても、路上駐車がいけないと言う感覚を持っていないなどで、例えば、人の敷地に平気で車を駐車し、その家の人に声を掛けられても、振切って幼稚園へ来ることなどがあります。

入園前からの、お母さん教育も、かなり必要ではないかと、今、思っているところです。親子を支え励ましていかなければならないけれど、「何をしてもいいのではないよ」と言うことを、親にも子にも、気付かせていってあげることが必要だと、痛感しているところです。

また、自園では、愛護委員の潮見班の集会に参加させていただいています。幼稚園児の代表の保護者が毎月参加させていただいているのですが、参加させていただくことによって、地域の為に尽力してくださっている人がこんなにいるのだと、感動されているので、参加させていただいていることは、有難いことだと思っと思っています。

小学校と中学校にも、大変、お世話になっています。潮中の中青健にも、幼稚園も参加させていただき、情報交換できて有難く思っています。ただ、精中と山中の方には、幼稚園は入っていないようなので、園長としては入れて欲しいなという希望を持っています。その点も、今後、ご配慮いただければなと思っいます。

(センター) 有害図書の問題ですが、県の愛護条例に規定されています。雑誌とか書籍・刊行物であって、卑猥な写真などが20ページ以上載っていると、全体の5分の1以上占めるものというようになっています。判りやすく言いますと、著しく性的感情を刺激するもの、著しく粗暴性・残忍性を助長するもの、著しく恐怖心を付与するもの、犯罪を誘発し又は助長する恐れのあるもの、などが有害図書と言われています。

(前川) 思春期の子どもを担当している訳ではないので、分からないのですが、思春期になったら、そういう所に興味を持って、そういう写真も見ながら大人になっていくと聞きます。だから、それを、あまり悪い事というイメージにしてしまますと、正常に性に目覚めていくことが、悪いことのように、思春期の子が思ってしまうといけないと思うのですが、その辺が、難しいなと思っながら、質問させていただきました。

(新井野) 園長から出ました中青健について、中学校区の枠があるのですね。中青健に幼稚園が入りたいという必然性があるのですか。

(前川) 中学校・小学校と共に、情報の交換をさせていただきたいという思いから、山中、精中校区の園長は望んでいます。

(上月) 愛護の面から言いますと、最近、児童が犠牲になる交通事故(亀岡等の)が続きましたので、保護者の方も、大変心配されています。そんな時、精道小学校の東側に、念願の信号機を付けていただき、とても喜ばれていました。私も、毎朝、あそこに立っています。信号がなかったところに信号が設置されたため、車でも赤信号で行ってしまうと言うことが、初めの頃にありました。1ヶ月経ちましたので、今では、そういうことがなくなりました。また、事故(亀岡等の)がありました頃には、白バイ等警察の方もよく来ていただき、有難かったです。

車より自転車がずっと恐いです。自転車は、信号などお構い無しです。子ども達の隙間を縫って通行したり、携帯を持って片手運転をしたりしますので、非常に危険です。目に余る時は、注意をすることもあります。

先日、精道小学校では地域や、子どもの登下校の安全を見守って頂いている方々が、校内で一同に集まる会を、初めて持ちました。これは、地域連携の「スマイルねっと」が中心となって企画したのですが、本当に、たくさんの方にお力添えを頂いているのだなということを改めて実感いたしました。

子ども自身も、自転車の乗り方がよくありません。先日も新しくできた43号

線の歩道橋のスロープを自転車に乗ったまま下って、雨が降っていたので、転倒したという事故がありました。幸い大事にはいたりませんでした。学校も子ども達に、何度も繰り返し注意や指導をしながら、安全には気を配りたいと考えています。

(菅野) 一月ぐらい前に、警察の前で、単車と自転車の事故がありました。急な自転車の飛び出しで、単車が、ドンとこけたような状態でした。大きな音がしました。私も出て行きましたら、単車がこけていました。高校生だと思いますが、生徒が自転車で南向いて下りようとしたところ、西から東に向いて来た単車にあたりそうになってこけているのです。単車の方は、起き上がれない様子でした。自転車の高校生は、「僕が悪いんです」と言っていましたので、自転車の急な飛び出し、自転車の無謀運転だと思っています。交通課自体も、自転車の違反なり、マナーを守っていただくために、自転車規則についての強化などを行っているところです。

具体的な、数字とかはお話できないのですが、子どもさんの事故と言うのは、自転車がらみで、登下校に多いと聞いています。

(新井野) 児童・生徒を交通事故から守る為には、学校だけではできない部分があると思います。地域の方の協力と言うのが必要だと思います。各方面の方、よろしくお願いいいたします。

(長谷川) 今のところ、市内の公立3中学校からは、大きな問題行動の情報は入ってきておりません。3中学校とも大変健全な状況で、学校が運営されていると思います。地域には本当にお世話になっているのですが、本校は、来週から“トライやる・ウィーク”でお世話になります。今は、山手中学校が行っていて、潮見幼稚園にも山手中学校の生徒が来ています。“トライやる・ウィーク”で、地域の方と接し、会話をすることによって学ぶことは、非常に大きな意味があると感じています。

本校のある潮見地区は、自治会活動が非常に盛んなところです。その地域が主催するお祭りなどの行事に、生徒がボランティアで参加する機会が多く、交流が深められていると思っています。

地域の特性をより生かすために、昨年度から、前川園長が言われたように、潮見中学校の中青健を幼・小・中という範囲に広げることになりました。

私は、潮見幼稚園と浜風幼稚園の評議員になっていますが、初めは、中学校の校長が幼稚園の評議員として役に立つのかなと思っていたのですが、実際行って、保護者や子どもの様子を見ていますと、中学校長が関わっていることによって、目には見えませんが、よい宣伝や交流になっているということ、実感しています。

潮見中学校という学校の存在を意識してもらうことも大切だと思います。また、そのために、実際に潮見中学校に来てもらうことも大切だと感じています。小・中連携ということをして市教委も進め、世間も理解し始めていますが、それを通してもっと公立中学校のことを知ってもらう必要があるでしょう。残念ながら、中学校に対してマイナスイメージを持っている人は、まだまだ、おられるようです。

それは、マスコミによって作られた悪いほうのイメージだろうと思うのですが、実際来られると、「本当に落ち着いた学校ですね」と驚かれることが多いのです。正しいイメージを持ってもらうためにも、前向きな交流を今後も続けていきたいと思っています。

(新井野) 幼・小・中連携というのは、非常に大事なことだと思っています。以前には、小・中連携、幼・小連携がありました。3つの関係が連携するということは、必要なことだと思っています。

(谷池) 保育所は、幼稚園と同様に就学前の幼児がいますので、小学校・幼稚園と連携して、災害訓練などもさせていただいています。

先ほど、出ていました交通安全と言うことでは、大きな事故(亀岡等の)がありましたので、公立・私立の保育所の保護者の送迎も含めてですが、子ども達に、交通ルールをきちんと守れるように、職員が指導をしています。所外へいく場合、保護者へ、どのように注意をしながら行ったのかを、伝えることによって、保護者へも、交通ルールを守ることを、気をつけて頂けたらと思っています。

また、防犯として、散歩に出かける前に、児童の集合写真を撮るなど、警察の方の指導があり取り入れられています。

保育所は、朝の7時半から夜の7時まで、私立の保育園は、朝の7時から夜の8時まで開いていますので、朝夕の車の送迎では、ご近所の苦情があります。苦情の中には、車を駐車されている時、子どもが車と車の間を、飛び出して保育所の門に入っていくので、とても危ないにご近所の方からお知らせ頂いたりします。保護者に伝えたり、子ども達を指導したり、ひどいときには、外で立って指導をしています。

待機児童が多いということで、この5月から認可園が一つ増えました。それは、0才から2才までの保育園です。6月から認可外の保育園も一箇所増えます。やはり、ご近所の方々とのお付き合いを大切にしていきたいと思っています。

(牧野) 自転車事故の事ですが、本当に多いです。宮川小学校区は43号線をはさんでいますから、「一番通り」というのは、北から来る子どもが一堂に集まります。陸橋がありますので、その陸橋を渡って学校に行くというところです。その場所で、最近事故がありました。前から危ないからと、道路課に「ここに看板が立てられないか」とお願いしていました。巻きつけシートはあるのですが、「看板を立てて欲しい。事故が起こってからでは遅いですよ」と話していたら、大きな事故があり、すぐ付きました。でもあそこは、国道事務所との関係で、看板一つつけるにも、巻きつけシート一つつけるにも、ちょっと大変だな、ということを実感しました。私たち、パトロールしている中で、地域の中で、子育て応援団を、学期に一回開いていますので、情報交換をしながら、学校からも言って頂き、PTAからも言って頂き、私たち愛護からも言い、地域の方からも言い、という風に、いろんな声を集めて、やっとな素晴らしい看板が出来ました。

私たちも引き続き見守って行きますが、看板が事故の抑止力になったらなと思っています。でも、自転車に乗る人のマナーが悪いことが一番の原因なのですが。愛護協会としましては、今年協会員数114名になりました。先日、総会があ

りまして、総会の後に、携帯のインターネットの安全教室をさせて頂きました。NTTから講師を派遣して頂き、啓発事業の一つとして愛護協会員の研修をさせて頂きました。

今後、24年度の事業を進めていく訳ですが、携帯、インターネットは勿論の事、子どもと語る会も、8月の末から9月にかけてやりたいなと思っていますので、ご協力よろしく申し上げます。

本年度、114名という、創設初めての大人数になりました。班活動の充実のために、センターと共に、元気に、明るく、爽やかに活動していきたいなと思っています。

それから、有害図書の問題ですが、私たちは、パトロールをしながら、コンビニや書店で雑誌のコーナーをよく見るのですが、成人雑誌というコーナーが設けてありますので、コンビニに行かれましたら、一度コーナーを覗いてみてください。多分、全部ビニール紐がかかっている子ども達に読めないようにしていると思います。最近、それ以外の本の方が、子ども達にとって影響があるのではないかなという事があります。

私たちも、見回りをしながら、コンビニにも、「成人雑誌を置いてあるところ、子ども達が手に取り難いようにもう少し高くしてもらえない」というようなお願いをしています。同じ地域の人ですので、顔見知りになり、「いつもお世話になります、子ども達、よろしく申し上げます」と声を掛けながら、パトロールをしているのが今の現状です。

(大塚) 警察の方から、子ども達が深夜のコンビニに集まっているという報告を受けましたが、私たちは、夜のパトロールとして、深夜とはいえませんが9時から10時、そして夕方と回っています。しかし、子ども達をあまり見かけません。他市でもそういう傾向があるとのことで、「子ども達はいったいどうしているのだろう」ということが話題になります。

インターネットや携帯を持ち込んで、親(大人)のいない留守宅に集まっているとか。集まってしている内容によっては、いろんな影響が大いに考えられるところです。幸いに、今のところ、芦屋では、そのような問題報告はないとの事です。そういうことから愛護協会で、先日研修会を行って頂きました。インターネット・携帯世代という子ども達と、親がどのようにコミュニケーションを取っていかなければならないかを実感しました。ただ、元気に遊んでいたらいいという時代ではないので、本当に、今の親御さんは大変だなと思います。

先ほど、幼稚園の事も出ていましたが、3年前から、幼稚園と保育所との連絡と言うこともしています。例えば、子育て応援団に愛護委員も参加していく中で、幼稚園の保護者の皆さんも、異世代の話を聞きたいという話が出ていると言うことを知り、「よろしければ班集會にどうぞ」「喜んで伺います」と言うことで、幼稚園の保護者さんが班集會に参加してくださる班が、一つ、二つ、三つと出てきています。これからも、幼・小・中と連携してやっていきたいと思っています。

先ほど、24年度の事業報告の中にもでていましたように、本年度は、県の補導委員連合会の大きな大会が芦屋市に廻ってきていまして、センターでは、昨年

度から、本当に緻密な計画を立てていただいています。私たちも、本年度183名の委員の研修会として、準備段階から、無理のないところで出来るだけのことをしたいと思っています。

(寺 本) 昨年度に策定しました第2次芦屋市地域福祉計画と芦屋市第3期障害福祉計画が、この4月からスタートしています。

最近、福祉で、話題になっているのは、生活保護の問題です。今年度予算が、初めて10億円を越えることになりました。10年前と比べて、生活保護家庭が2倍になっています。約440世帯が、生活保護を受けていますが、この数は、阪神間や大阪と比べて、断然少ないのですが、芦屋市も徐々に増えてきている状況です。確かに不況という要因もあるのですが、高齢者の生活保護世帯が増えてきたということです。年金が少ない中で、健康を害されて家に閉じこもっているとか、家族と縁を切っている、このケースが結構、増えてきています。兄弟がいても知らないとか、息子がいても縁を切っているからと言う人や、地域との繋がりがなく、家に閉じこもって一日中テレビを見ている方もいます。これは、生活保護世帯に限ったことではないのですが、世の中で何が起きているのか、わかりにくく、問題が起こったときに、発覚するケースが増えているのではないかと思います。

孤立化している家が地域の中にあります。家の中の問題だけでなく、地域で考えたら解決できるような問題がたくさんあります。地域の課題について話し合う機会を設けることによって、その課題解決に向けて、人々が繋がっていくというような仕組みを、今回の第2次地域福祉計画では取り入れて、進めていこうと考えています。

今回の計画の中で、プロジェクトが3つ立ち上がってしまっていて、その一つ、ベンチのプロジェクトについては、小学校2年生の方がベンチデザインを応募されたものが、最高点で入賞し、そのベンチが今、福祉センターと打出商店街の「まごのて」に置いてあります。ベンチは一人座れば、横にはなかなか座りにくいので、ベンチの右側に座ったら、「おとなりどうぞ」とベンチ左側の背中に書いてあり、左側に座ったら、「あいていますよ よかったら どうぞ」と右側に書いてあるものです。とても可愛いベンチです。このベンチプロジェクトの発想は、高齢者等がお買い物に行くときに、ちょっと座りたい、休憩したいと思うのではないかということから、町中にベンチを置きたいということだったのですが、ベンチを置くことによって、人と人との出会いがあるのじゃないか、犬の散歩をしている方としゃべったり、乳母車を押しているお母さんにちょっと声を掛けたりとか、そういう世代間の交流もベンチをスタートにして発信していきたいというのが、プロジェクトの考え方です。これも、地域の繋がりを大事にしようということなのです。

福祉というのは、勿論、生活を保障するのですが、住民の方が、自らの地域の課題を出して、行政と一緒に解決していく、事業者も含めた社会福祉なのですね。コンビニの店長さんにも来てもらって、町のことについて一緒に考えてもらう、そういう取組みが、進んできています。その方向でとりくみを推進していこうと

するのが、24年度から計画です。地域の繋がりと言う事を大事にしながら、福祉を共に創りあげていこうという形になっていきますので、また、よろしく願いいたします。

(丹 下) この4月からですが、先ほど、校長先生からもお話がありましたが、概ね、落ちついたスタートができています。

問題行動件数は、中学校で言えば、半減しています。小学校は、もともと件数が少ないですが、横ばい傾向です。問題行動の種類別に、集計しますが、昨年の一学期だけで見ますと、7種類上りました。

今のところ一番多い件数としましては、生徒間の喧嘩でして、大きな揺れはありません。一方、不登校生でいいますと、昨年度から継続して、学校に行きにくくなっている子もいます。適応教室に行きながら学校復帰を目指している子もいます。

芦屋市の特徴で言いますと、長欠児・生徒ということだけで拾いますと、インターナショナルスクールに通い、籍を小中学校に置くという生徒がいます。多い学校では20名近くいる学校があります。長欠児・生徒と、一概には言えないですが。

昨年の末からこの春にかけて、中学生の進路ですが、未定となっている生徒はいませんでしたので、丁寧な取組みをしていただいていると思っています。

行事が終わってから数が増えてくるという傾向が例年あるので、丁寧に取り組んでいけるようにと思っています。

(新井野) 一通り、委員の皆さんから、ご意見等お伺いしました。教育長からは、何かありますか。

(教育長) 亀岡の交通事故がありましたので、朝、開森橋の辺りなどに行くのですが、地域の方、保護者の方、警察の方に立って頂いて、今の安全が保たれているのだと思います。そういう中において、自転車のマナーの悪い人や、信号を守らない人が多いですね。赤信号で渡っている大人を、横で小さい子が見ていて、学校では、「赤信号でちゃんととまりましようね」と教えてもらっているのが、虚しくなるような気がします。そう言う意味でも、みんな、守らないといけないことは、最低限、子どもの手本として守っていかないと、子どもが交通事故に会うと大変なことになります。

問題行動等では、学校教育部長が報告しましたように、4月は、学校や皆さんの協力で、安定した状態が出発したと言っていますが、安定な時期だからこそ、次の手を考えていかなければならないと思っています。

(牧 野) 先日、5月29日、雨と雷の中、たまたまパトロールだったのですが、山の方を見たら、雲が厚かったので、「危ないので解散しましょう」と言ったのですが、ちょうど、幼稚園の降園に合わせたパトロールだったのですが、幼稚園、小学校、中学校は、大雨の時は大雨注意報とか警報とか出たら休みとかありますが、雷についてはどうでしょうか。

(丹 下) 自分の体験で言うと、「グラウンドに出ている子は、すぐに校舎内に入りなさい」

といいます。雷が鳴っている間は下校させられませんので、治まってからグラウンドに出るか、下校を促すかのどちらかにしています。

(前 川) 幼稚園も、お母さんと共に、園舎内に入ってもらいました。「治まってからお帰りください」ということで、待ってもらっていました。

(新井野) さて、そろそろ時間も迫ってきました。閉会の挨拶をお願いします。

(西本社会教育部長閉会のあいさつ)

(終了)